大会役員

|  |  |
| --- | --- |
| 総務委員　窪田良行 | （ 諏訪台　中学校 ） |
| 競技委員　田上瑞恵 | （ 桐ケ丘　中学校 ） |
|  | （ 桐ケ丘　中学校 ） |
|  | （ 桐ケ丘　中学校 ） |
|  | （ 桐ケ丘　中学校 ） |
|  | （ 桐ケ丘　中学校 ） |
|  | （ 桐ケ丘　中学校 ） |
| 会　　計　田上瑞恵 | （ 桐ケ丘　中学校 ） |

《　諸注意　》

　この大会は、東京都中学校体育連盟が定めた実施要項及び現行の日本バドミントン協会競技規則同大会運営規定に準じて行います。

　スムースな大会の進行を期すため、中学生として節度ある行動を心がけ、応援者・卒業生なども含めて本部の指示、及び規定を厳守すること。守れない場合には、出場停止を含む処分とします。

試合

1. 試合では常にフェアプレーを心がけ、行動を速やかにする。また、相手を威嚇したり、不快の念を抱かせないようマナーに注意する。
2. 汗ふき及び水分補給、靴ひもの締め直し、ラケットの交換等が必要な場合は、主審の許可を得る。ただし、水分補給はフロアでの水分補給が認められている場合のみとし、入れ物はフタの閉められるものとする。
3. 選手はシャトルがインプレーでないときに限り、試合中にアドバイスを受けることが出来る。ただし、プレーの進行を遅らせてはならない。監督・コーチ等は、試合にふさわしい服装で臨むこと（ジーンズ、短パン、スリッパ・サンダル・素足等は不可）
4. インターバルの時に競技区内でアドバイスできるのは、当該校の監督・コーチ・外部指導者・助言者・生徒１名のうち２名以内とする。アドバイスはチェンジエンドをしてから行うこと。
5. インターバルを除いて、選手は主審の許可なくコートを離れることはできない。
6. 審判への質問については、審判員の判定に対して疑問のある場合は、当該プレーヤーが、団体戦の場合は当該プレーヤーと監督に限り、質問することが認められる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。

服装

1. 頭髪、服装は大会の品位を損なわないものとし、さっぱり整える。服装は日本バドミントン協会審査合格品とする。シャツは東京都中学校体育連盟バドミントン部認定のウェア（関東記念ウェア）・白単色の襟付きについては、着用を認める。また、この大会は各学校指定の体育着上下の着用を認める。ただし、ウェアから極端にはみ出すインナー等の着用は認めない。
2. シャツの背中に学校名入りのマークをしっかりとつける。マークは縦20㎝、横30㎝の範囲に、黒または紺色の日本文字、楷書で学校名を記入したものとする。校名の下に個人名、または地区名を入れてもよい。シャツの地色が黒または紺色と同系色で、文字が見えにくい場合は文字を白色とする。
3. ウェア（上衣）の裾はマナーとして下衣に入れること。
4. 健康器具などのネックレスや手首等にバンドなどを着用しての試合を禁止する。

応援・会場使用

1. 応援は拍手のみを原則とし、会場全体の試合の妨げにならないようにする。フロアでの写真やビデオの撮影については原則不可とする。フロアを除く会場内での撮影は許可するが、会場の電源の使用はしない。報道機関や学校から依頼された業者（卒業アルバム等）等の撮影については、事前に競技役員に許可を取る。（当日の申請は許可しない。）
2. 個人で撮影した画像や動画は、ＳＮＳなどを通じてインターネット上に絶対に公開しない。
3. 体育館シューズと外履きの区別は会場の規定をしっかり守る。（内履きでの外出禁止）
4. 着替えは更衣室を利用する。
5. 館内のコンセントは利用しない。（携帯電話・ビデオカメラ・ゲーム機など）
6. 他の施設利用者の通路を確保すること。（階段付近や更衣室付近に座り込まない）
7. 貴重品は各自、もしくは学校単位で管理すること。
8. ２F観覧席内の客席誘導灯に接触しないよう、走ったりしない。（破損や感電の恐れあり）
9. 食事は２階観客席のみでとること。１階ロビー、競技場内、更衣室での食事は禁止とする。
10. 競技場内の水分補給は蓋付きの容器を用意すること。（ペットボトル×、水筒○、紙コップ×）
11. 敷地内及び館内は全て禁煙とする。喫煙者は体育館外の喫煙スペースでマナーを守って利用すること。
12. ゴミは各自で必ず持ち帰ること。（館内常設の自動販売機ゴミ箱へ投棄しない）
13. コートを勝手に使用しない。また、競技フロア内では試合の進行を妨げないように注意する。
14. その他、会場の使用にあたっては、本部の指示に従うこと。

審判

1. 試合に負けた学校及び本部より指定された学校の生徒は、ただちに、本部の指示に従って，指定された試合の審判（主審・線審・得点表示）を担当する。
2. 審判は厳正にてきぱきと行う。疑問点は本部に問い合わせる。
3. 線審は一カ所に一名のみ着席し、明確に判定する。
4. 会場内の付属物にシャトルが触れた場合にはフォルトとする。
5. 試合終了後はすぐに本部に用具（シャトルを忘れずに！）を返し、結果を報告する。
6. 主審は２１点ゲームの１１点時には60秒、ゲーム間は120秒以内のインターバルを設け、20秒前には必ずその旨をコールすること。

　危機管理対応

1. 各学校の引率者は、学校から会場までの往復の経路間での事故や災害（雷雨等）など緊急時の連絡方法や避難場所、避難方法等の確認をする。
2. 会場内の避難経路を確認する。
3. 地震、火災等発生時は、本部や体育館担当者の指示に従って行動する。
4. 事故等が発生したら、本部へ連絡する。
5. 生徒の健康観察をしっかり行う。生徒の健康安全を第一に考える。

　その他

1. 開会時の受付にて選手の確認ができない場合は、いかなる理由があっても当日の大会への参加を認めない。
2. 試合時間、得点、コートなどが変更される場合があるので、常に注意すること。
3. 本部の指示に注意し、直ちに指示通りに行動する。
4. その他、不明な点、疑問点などは本部に問い合わせる。
5. この規定は、２０１４年４月２７日より実施する。